

B ブロック全作品と講評

とり



親鳥も

わが子に抱かれ

親子井

鳥取について

子どもの頃、「鳥取」はどちらの漢字が先なのかよくわからなくなかなか
っただろうか。「とり」で終わるのだから「取鳥」だと思ってしまう人
もいるだろう。

そもそも鳥取という地名の由来は諸説ある。古事記や日本書紀にも鳥取の
語は見られる。古事記では、大和朝廷が鳥を税として納めさせていた時代
に、現在の鳥取平野で水辺に集まる鳥などを捕らえて暮らしていた狩猟民
族が「鳥取部」として大和政権に従属するようになり、それからこの地が
「鳥取」と呼ばれるようになったとされる。また、日本書紀では成人して
も言葉が喋れない王子が空を飛ぶ白鳥を見て「是何物ぞ」と発し、喜んだ
天皇に命じられてその鳥を捕獲したことで「鳥取造」の名を与えられた臣
下の本拠地であったとされる。

「人を殺す者」のことを「人殺し」と言うように、「鳥を取る者」のこと
を「鳥取（とりとり）」と言い、これが転じて「とつとり」になったと言
う。

これでもう鳥取なのか取鳥なのかわからなくなることはないだろう。

鶏1「鳥って普通飛べるじゃん？でも俺ら飛べないよね」

鶏2「他にも飛べない鳥はいるだろ。ペンギンとかダチヨウとか……」

鶏1「いやいやいやいや、ペンギンはすげえ泳げるし、ダチヨウは走るの

早いじゃん！だからさ、俺が言いたいのさ……」

鶏2「わかってるよ、俺らだけ飛べないし一芸もないってことだろ。」

鶏1「そうだよ！なんかないのかな、俺らにも特技っつーか、自慢できる

ところ……」

鶏2「そうだなあ……あつオッサン来たぞ」

鶏1「あれ、飯の時間終わってるよな？何の用で来たんだろう……」

〽数日後〽

私「唐揚げめっちゃおいしい……」

【美味しいって自慢になるんかい！】

朝には卵巻き

さくさくネギ切って入れて

お昼には親子丼

ほかほか大盛りで

夜にはチキンチキン

ヤムニョム半フライドウ半

三試三食鶏食べても

私は鶏が大好き

鶏の歌

向こうから警察官がやってきた。どうやら取り調べをするらしい。

「名前は」

「取越 苦郎です、何ですかいきなり」

「自宅で飼われていた鳥が鳥籠ごと盗まれるという事件がありましたね」

「へえ」

興味もなさそうに答える。

「そういえば、やけにコートが膨れていますね」

「鳥を鳥籠ごとなんて盗りませんよ、ほら」

不愉快そうに厚手のコートのボタンを外す。

その瞬間、鳥籠が落ちる。ゴトリと音がする。

「取り繕ったって無駄ですよ」

男が取り押さえられ、連行されていく。一連の紛糾を背にして、私は静かに飛び立った。

灰色の砂の上に乗せられ、先端に真っ赤な火をつけられて

ぼくはひとり

黒い闇の中に放置され、時が過ぎるのをまつのみ

ぼくはひとり

役目があるって知っているさ、黒い虫を捕まえるんだろう？

ぼくはひとり

たまに人が来ても、僕の緑がどのくらい残ってるかを見るだけだ

ぼくはひとり

すべてが終わったら全身灰色の僕をゴミ箱に捨ててしまうのさ

ぼくはひとり

お前が小さいころは俺だけを見てくれていたのに

いつの間にかいつもいいな、なんて言うようになったんだ

あの人の流さ、苦さに惚れた、お前はガキのままだった

お前をこの世界に引きずり込んだのは

俺のおかげだろうが

もう一生

俺だけを見てくれることなんてないんだろうな

陽の光に照らされて色鮮やかに輝く羽衣を

身に纏まとった君の目から涙が零れ落ちた

若草色きぼうの羽根が一枚

薄紅色こいさいろの羽根が一枚

涙の重みを含んで千切れ落ちたその羽根を

僕は懸命になって拾い上げた

真珠のように艶めいた君の羽根は

ちっぽけな僕のはねとは異なるけれど

——少しは君に近づけるかな

君の羽根をも纏った僕はそう呟き

翼を広げて君の華奢な背中を追いかけた

翼はみんなについている
飛ぶか飛ぶないかはあなた次第

君との始まりは、あの有名な青い鳥のこと

とつぜんのことだったけど惹かれあった君とわたし
しりあえて本当に、よかったなあ

あの日、君と初めて交わした会話

わたしにくれたたくさんの幸せ

せいしゅんの一日一日を彩ってくれた君に

にぶい君に、口で言いたいな

なんとなく、としか言えなかったり

りゆうなんて無かったりするけど、もう決めた

たくさんの幸せをくれた君に言いたい

いつか君と、、

「君とのしりとヒストリ」

「俺の夢は——死んじまったよ」

こぼれた彼の呟きを聞き損なうことができなかった。放り投げられたその言葉は、聞こえなければ良かったのにも思ってしまうほどに重い。

堪えきれずに顔を上げれば、苦しげな笑みを浮かべる彼と目が合つて——更に耐えられなくなった私は再び目を落とす。

夏の夜の空気は、べつたりと暑い。

東京の専門学校で出会った彼は、明日、故郷へと帰る。元々そういう約束だったらしい。夢を叶えるか、親の仕事を継ぐか。一つ道が絶たれてしまえば、残された選択肢を選ぶしかないのだ。

彼は強いひとだった。努力が報われなければ更に努力を重ね、タイムリミットが訪れるその瞬間まで全力だった。ただ、運命の女神が彼に微笑まなかったただけなのだ。

怖くなるほど順調に自分の世界が回っている弱い私には、彼に触れることすら恐ろしい。

それでも、彼を今日花火に誘ったのは私のほうだった。何かしなければならなかった。それが驕りだとしても、このままでは彼は立ち止ったままだと思ったのだ。

そして私は今、他に誰もいない町はずれの公園で、彼と二人で蠟燭の明かりにぼつり照らされている。

「きみは——」

ふと、言葉が口をついた。彼がこちらを向いたのが視界の端に映る。私は手持ち花火を一本手に取り、その先を蠟燭の火の中に突っ込んだ。

しゅうううう、と間拔けな音と共に、鮮やかな色の炎が飛び出す。

「きみは、まだ生きているじゃない」

彼の顔をまっすぐ見つめる。白い明かりに照らされた彼の瞳は揺れていた。

「きみの夢が死んだのなら、お葬式をしようよ。今日はお葬式だ。……夢を看取って、きみは前に進む。それが生者の務めだよ」

弱い私が言われたら折れてしまうだろう酷い言葉を、あえて彼にぶつけた。彼がこのくらいで負ける人間ではないと、私は知っている。

私は花火を一本選び出すと彼に手渡した。彼がおずおずとそれを受け取ったのを確認すると、彼の隣に立ち、私の花火から火を移す。

「……葬式だつて言うのなら、」

迷うそぶりを見せつつも、彼は口を開く。

「うん」

「この炎は、天まで昇っていくのかな」

「そうかもしれない」

横を見れば、彼は泣いていた。頬を伝う雫が光る。

彼が涙を流すところを見るのは初めてだった。

私は目を閉じる。

「また、会えるよ」

見上げれば、風のない空に煙が細く立ち上っていた。

「看取り、」

「とり」

つとめてに

響き渡りたる鳥が歌

人なき世にぞ

にほひぬるかな

コンテスト結果

[Aの部]

コ ラ ム 番 号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	鳥のオリンピック	1 pt	9 位	0 sp
		あ、えーと、うーん、たしかにね。 とダジャレに苦笑するしかないユーモラス表紙でした。 シンプルさがヒットしてイチオシフリーズ大賞ゲットで す、おめでとう！ イチオシフリーズ：「鳥のオリンピック」×4		
A02	特急「つばめ」物語	0 pt	10 位	0 sp
		2 番、正統派粋。鉄道愛が、ひしひしと伝わってきます。 知る人ぞ知るつばめを、しっかり紙上に蘇らせてい ただきました。 乗りに行きたくなった読者さんもいるはず。		
A03	みにくいアヒルの子	5 pt	8 位	0 sp
		なぜか、このネタを取り上げた作品がかなりありましたが、 これはイジメ側の視点という切り口がユニークで、 なるほどこれはいじめたくなっちゃうよね、と心情にも 共感を誘います。 ラスト、美醜って何だろうという問いかけも刺さります ね。		
A04	野鳥図鑑 三三四 ページ	22 pt	1 位	2 sp
		334は措いといて、と。 あんなトリ、こんなトリ、生態をうまくとらえて図鑑ス タイルに落とし込んだアイディアが成功してますね。自 分でも何か考えたいくなる知的な仕上がりでした。 これだけ楽しい作品をプロデュースできる作者さんが、 壇上でとても控えめだったところが、また奥ゆかしくて すてきです。おめでとうゴールドメダル!!! 特別賞：これ妖怪ウォッチで賞（鳴き声が好き）理系で 賞（発想力が凄い） イチオシフリーズ：「鳴き声：『会社に連絡する ぞ!』」「鳴き声：『会社に連絡するぞ!』『家族がど うなってもいいんだな!』」「シャッキントリ（ヤミキ ン科）」		
A05	ちりとりの決意	0 pt	10 位	0 sp
		ちりとりくんのささやかな決意がいじらしい。 いろんな角度からトライするチャレンジ精神をニンゲン も見習いたいもんです、うん。		
A06	てとりす	0 pt	10 位	1 sp
		ナンセンス芸、だったでしょうか。 テトリス、知らない人もいるので、そこ気を使いたかつ た。と言いつつ、早口言葉にして遊んでた班とか、けっ こうみんな楽しんでたようで。 特別賞：イミフ☆賞（6人いても理解できない。まさにイ		

		ミフ) イチオシフレーズ：「とりとり。とりとりがてとて をとりあう。」「とり、とりとり」「それがてとり す」
A07	僕はとっとり	7 pt 7 位 1 sp シュールな問答で、ラストのつつこみが笑えます。 今回、鳥取ネタもたくさんありましたが、本作はセンス がピカイチに光ってました。 特別賞：お前誰で賞（最後のフレーズより。お前は誰な んだ） イチオシフレーズ：「珍しいですね、大歓迎です」「お 前誰だよ」
A08	とりこ鳥	8 pt 6 位 2 sp これでもかといっぱい「とり」を仕込んでいただいたワ ザに拍手。 まっすぐな純愛メッセージもすがすがしく伝わってきます。 特別賞：※ただしイケメンに限るで賞（すばらしい作品 なので、ぜひ作者を拝見したい……！） とり最多賞（と りがいっぱい!!） イチオシフレーズ：「トリミング」「君の心のトリを飾 るのは、きっと僕だと信じているから」
A09	ひとり/鳥の糞	19 pt 2 位 1 sp ダブルミーニングで来たか、うまいなあ！ 「ポツリ」擬音が、いい仕事してます。 シンプルさがヒットしてシルバーメダルの支持をいただ けました。おめでとう!! 特別賞：また頑張りま賞（虚しさが伝わってくるし、共 感ができたから） イチオシフレーズ：「ポツリ」
A10	ことり	9 pt 4 位 2 sp レイアウトがとてもうつくしい。そのレイアウトとフ レーズがきれいにマッチして「眠る」「挑む」動きが くっきり心に響きます。 特別賞：グッドデザイン賞（デザインが良い） 飛賞（形 がきれい！ がんばったなあ！）
A11	九官鳥	9 pt 4 位 5 sp うーむ、もう少しコンパクトにできたのでは。せっかく のいいお話、みんなが読みたいと思ってくれるレイアウト でないと、もったいない。 そして、この九官鳥、けっこう意地悪さんなんですね。 その視点から描いてもおもしろかったのでは。 何はともあれ長さでみんなの注目を集めて最多特別賞で した、おめでとう！ 特別賞：長すぎる文賞（長すぎるから） ちょう文賞 （ちょう文だから） 努力賞（長かったから。読んだ ヨ！） なげーよ賞（読めたもんじゃない） 頑張ったで賞 （面白い話だったから）
A12	命	10 pt 3 位 1 sp ラストはキレイに、がお約束だけれど、これはきれいに みえてブラック。だからよけいに「命」という重たいタ イトルが心に響きます。

ほらそこ、無精卵とか言わない！無粋なんだからっ！
ぐるぐるぐるぐる、読者さんの心をかきまわして、おめで
とうブロンズメダル！
特別賞：大とりで賞（大とりを飾ってたから）

[Bの部]

コ ラ ム 番 号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	無題（親子丼）	17 pt	2 位	1 sp
		これはすごい！シュールでシニカル。インパクト大の今週の表紙でした。 おもしろいよね、とフロア的话题をさらってのシルバーメダルです、おめでとう!! 特別賞：残念賞（4位）		
B02	鳥取について	0 pt	10 位	0 sp
		ナイス・蘊蓄な正統派枠です。 起承転結がくっきりしていて、はじめとおわりもきれいに対応していて、あとはレイアウト＝見せ方を工夫すると、もっと正統派っぷりが上がります。		
B03	美味しいって自慢になると思う	10 pt	3 位	0 sp
		鶏は死して唐揚げを残す、と。 ふむふむ。シンプルなオチでまとめたので、ブラックオチもそうエグくなくて良かったです。おめでとうブロンズメダル&イチオシフレーズ大賞同時受賞!! イチオシフレーズ：「唐揚げめっちゃおいしい!!!!!!」×5		
B04	鶏の歌	0 pt	10 位	2 sp
		留学生さん作品入ります。 さくさくとか、チキンチキンとか、リズムカルでおいしそうなのが◎。 特別賞：読めないで賞（半？）うたってほしいで賞（ぜひうたってほしいから） イチオシフレーズ：「フライドゥ」「ヤムニョム半フライドゥ半」×3		
B05	鳥と籠	0 pt	10 位	0 sp
		取越苦労さんおつかれさま、なユーモラス展開の逮捕劇でした。 男と思わせて、じつは鳥視点というミスリードっぽい落とししかたがあざやかでした。		
B06	とある蚊『とり』線香の叫び	4 pt	7 位	1 sp
		暗闇に放置されて、身を削って使命を果たして、使い切ったらばい。 蚊取り線香の孤独感がひしひしと伝わってきます。ナイス着眼&ナイス観察眼でした。 特別賞：もうすぐ出番で賞（ひとりぼっちでかわいそうだから賞をあげる） イチオシフレーズ：「ぼくはひとり」		
		9 pt	4 位	0 sp

B07	ねぎま	シリアスな問いかけに見せて、なあんだ、まぐろくんのぼやきかと落としてつつ、でもシリアスな嘆きがしみじみ迫ってくる。 なりきりかたの巧みさが、作品の力になっていました。		
B08	翼	4 pt	7 位	1 sp
		若草色に薄紅色。あざやかな色彩に追いかける「僕」のいじらしさが重なって、どこか舞踏劇を観るような華やかで動きのある一幅でした。 特別賞：ステキな言葉を選んだで賞（言葉の1つ1つがステキです！）		
B09	無題（翼はみんなに）	8 pt	5 位	0 sp
		予備校あたりの標語のような。 フォントもレイアウトもきれいに完成されています。 イチオシフレーズ：「あなた次第」「翼はみんなについている 飛ぶか飛ばないかはあなた次第」×2		
B10	君とのしりとりヒストリー	29 pt	1 位	3 sp
		ヨコヨミ&しりとりダブル技で来ましたね。 このギミックが成功して、ちょっと恥ずかしいセリフも何とか言えてしまう。シャイな東工大生の憧れを誘うつもりでもありました。 オセロ→改札ちゃん→しりとりと進化中で、ただいま二連勝。彼の今後から目が離せません。おめでとうゴールドメダル!!! 特別賞：がんばったで賞（縦読みとしりとりを同時に仕込み、ラストの終わり方も綺麗でした） 青い鳥はダメ賞（しりとりとヒストリーにトリがからんでいてよかたが、青い鳥はダメかなあと思った） 気づけたら嬉しいで賞（文ごとの頭文字を右から読んでいくと『君としあわせになりたい』となっていて発想力がすばらしい!!） イチオシフレーズ：「君としあわせになりたい」		
B11	看取り	6 pt	6 位	3 sp
		夢を弔うお葬式。 花火という小道具設定も成功して、彼の無念の大きさとそれを耐えうる強さがくっきり暗闇に浮かび上がります。描写力秀逸。 特別賞：長文賞（頑張りをここに賞します） 長い文賞（長かったから） ご賞香（選考委員長の独断と偏見） イチオシフレーズ：「この炎は天まで昇っていくのかな」		
B12	鳥の詩	3 pt	9 位	4 sp
		人類滅亡の朝も、鳥は元気に鳴くのです、というような諸行無常の未来光景と読んでみましたが、さて？ わかんないの大合唱を浴びつつも最多特別賞です、おめでとう！ 特別賞：トリにふさわしいで賞（コラム集のトリにふさわしかったから） 東工大生には厳しいで賞（古文はやめてほしい） 東工大生には伝わらないで賞（和歌が詠めない） 一橋賞（「つとめてに」朝かな、「にほいぬるかな」うーん、よいつていう意味かね。とにかく東工大生ではないね、東大行けよ!!）		